

2260 | 博物館教育論

2 単位（通信授業 2 単位）

三澤一実教授、金子伸二教授、松永康講師

授業の概要と目標

社会教育施設としての博物館の役割と博物館における教育的機能の種類や特徴を理解したうえで、実際の活動事例の把握を踏まえて、活動実践のための考え方や具体化に向けた手法、学校や地域社会など館外との連携のあり方などを、美術館における教育普及活動を中心的な題材として学び、博物館における教育活動への理解を深めるとともに、教育の担い手としての基本的な認識と活動計画のための基礎的な能力を獲得すること。

課題の概要

[通信授業課題 1、2]

教材による学習の後、博物館で行われている教育プログラムに参加しその目的と内容構成について考察する事例研究、博物館における教育プログラム案および関連ツールの作成の 2 点の学修報告書を課し、個々に添削指導を行う。

授業計画

[通信授業]

- ・(教材による学習) 博物館における教育活動の背景/学校教育との関係/来館者とのかかわり/博物館の種類に応じた取り組み事例/博物館とまちづくり/体験型展示/ワークシートの位置づけと事例/ワークシート開発の流れと留意点/学校における鑑賞教育事業 等
- ・(学修報告と添削指導) 教育プログラムの目的と内容構成を考察する事例研究/教育プログラムの立案と実施のための関連ツール制作

成績評価の方法

通信授業課題をもとに評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4 年次

[履修条件] 「デザインリサーチ I・II」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 芸術文化学科各コース 3～4 年次選択科目。

芸術文化学科以外の学芸員課程履修者（改正後の学芸員課程〔新課程〕履修者）は、「デザインリサーチ I・II」の単位修得が無くても履修できる。

教材等

教科書：小笠原喜康、チルドレンズ・ミュージアム研究会編著『博物館の学びをつくりだす その実践へのアドバイス』（ぎょうせい 2006 年）

学習指導書：『博物館教育論 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

その他

学芸員課程履修者（改正後の学芸員課程〔新課程〕履修者）は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。